

(様式2)

#### 4 学校教育計画

項目		目標・方針及び計画	
(1)	学習活動と進路支援	目標	生徒の実情の把握に努め、きめ細やかな進路支援を学校全体で行う。授業の充実を学習活動の中心に据え、学年と教科が緊密な連携を図り、幅広い学力層に対応できる態勢を構築する。
		計画	(1) 学期始めの面接週間に加え、適宜生徒の実態に応じた面接指導を心がけ、学期に2回の面接を行う。 (2) 学科と教科が緊密に連携を取り合い、習熟度の応じた個別的・主体的取り組みを促し、大学受験に対応できる学力が養成されるよう、自学課題のあり方を工夫する。 (3) 幅広い学力層への対応、意欲的・主体的な学習活動が展開されるよう、教科内で検討・総括を行う。
(2)	学校生活	目標	(1) 自主自律の精神に満ちた主体的に取り組む集団の形成 (2) 生活のリズムを整える食習慣の定着
		計画	(1) 生徒会執行部、校紀委員会の主体的な活動を通して、望ましい校風の醸成を図る。 (2) 朝食を始めとした食習慣の実態を把握し、食事の重要性を理解するとともに、感染症予防を意識した食事や生活習慣を考えさせる。
(3)	学校の活性化	目標	(1) どのような状況においても主体的な活動を心掛け、学校生活の充実に努める生徒の育成 (2) 読書活動の推進 (3) 校内や戸出地域を範囲とした様々な形のボランティア活動を通じて、奉仕の精神を養い、地域愛を育む。
		計画	(1) 学校行事・部活動が制約を受けるなかで、生徒が既存の枠組みにとらわれることなく、主体的に行動できる場面を設定する。 (2) ①朝読書の時間の有効的活用 ②図書館の広報活動（POPカード、校内掲示板、図書だよりなど） ③図書館資料の除籍、廃棄 (3) ①ホームルーム活動等を利用したボランティア活動の機会の保障 ②生徒会によるボランティア活動の企画

項目		目標・方針及び計画	
(4)	SOUTH 探究プロジェクト	目標	<p>(1) 大学・地域と連携し、探究力の育成を通して、生徒が本気で学びたいという意欲を涵養し、大学での学びにつなげる。</p> <p>(2) 互見授業参観を実施し、新課程実施に向け授業力を向上する。</p>
		計画	<p>(1) ①地域（企業・行政）と連携し、課題発見・課題解決方法を地域企業・地域行政をテーマにして学ぶとともに、探究学習の基礎（リテラシー）を学ぶ。また身近な地域を課題にして探究をすることで、将来の社会とのかかわり方の視野を広げる。</p> <p>②大学との連携により、探究力・自己発信力を育成する。富山大学との連携により、大学の学びが社会に繋がることを理解させ、学習意欲や進路意識を高める。</p> <p>③イノベータープログラム（アントレプレナーシップ教育・グローバル教育）により俯瞰して対象を捉える中で、高い志を持ち主体的に学んでいく力を涵養する。</p> <p>(2) ①指定公開授業を行い生徒がタブレット端末を用いた授業を行う。</p> <p>②他教科の授業を含めて、授業を3回以上参観する。</p> <p>③互見授業終了後、教科別授業研究会を開催し、3年間を見通した指導法を築き指導目標を共有するなどカリキュラム・マネジメントを行う。</p>
(5)	I C T 推 進事業	目標	教育クラウドを利用した教育活動の推進工程の達成
		計画	<p>(1) ICT 推進業務の分担</p> <p>(2) 業務内容の整理とフォルダ構成の改善</p> <p>(3) ガイドラインに沿った教育クラウド整備</p> <p>(4) 1人1台タブレットの初期設定と運用に関する研究</p> <p>(5) 教材のデジタル化による ID・PW 管理</p> <p>(6) 「校務支援システム」の運用</p> <p>(7) 「ICT 推進事業」（支援金）の管理・運用</p>